

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	肝細胞がんに対するレンバチニブの有用性と生存期間に寄与する因子の多施設共同研究
	研究目的	レンバチニブは 2018 年に進行肝細胞癌に対して使用可能となった治療薬ですが、従来の治療薬であるソラフェニブとの使い分けは未だ明らかでなく、それぞれの治療の効果と副作用を比較することで、その最適な使い分けを明らかにすることを目的としています。これにより、生存期間の延長や病状の緩和に結び付く治療となる可能性があります。
	研究対象者	2009 年から 2018 年 3 月までにソラフェニブで治療した患者さん
	研究期間	西暦 2019 年 03 月 06 日 ~ 西暦 2025 年 03 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	消化器内科・肝胆膵 森本学
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器内科・肝胆膵
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター内科 准教授 中馬 誠